

# 鈴木 里美さん

Satomi Suzuki

管理栄養士

1980年、神奈川県横浜市生まれ。県立川和高校から実践女子大学生活科学部、横浜DeNAベイスターズチーム統括本部ファーム・育成部の管理栄養士として、選手寮の献立作成、食事提供、栄養指導を担当



## 「食」の専門家として プロ野球選手たちを支える

父が家庭菜園で作ったおいしい野菜で育った私は、子どもの頃から食えることが大好きでした。そうしたこともあり、食に関する科目が充実している実践女子大学に入学し、細川優先生のゼミで栄養学の基礎を学びました。大学卒業後は食品メーカーで営業の仕事をし、全国の営業社員の中で売り上げ成績が3位になったことも。しかし、「もっと食を通じて人のために役立つ仕事をしたい」と思い、4年間勤めた会社を辞め、管理栄養士になるために専門学校に通いました。学費を捻出するため、アルバイトをしながらでしたが、栄養士の資格を取り、介護老人保健施設で実務

経験を積んで夢をかなえました。現在、神奈川県横浜須賀市にある横浜DeNAベイスターズの「青星寮」で球団スタッフと連携しながら若手選手たちの栄養サポートをしています。選手が長いシーズンを乗り切れるよう、栄養価に配慮し飽きない献立を考えられています。最近の話題は、私もレシピ作りに関わった寮の名物「青星寮カレー」が缶詰として販売されたり、横浜市の小学校で給食として提供されたこと。スポーツを通じて多くの人が笑顔でいられるよう、選手たちの活躍をお手伝いしたい。そして、何よりもチームが優勝することを願っています！



学生時代、調理実習でクラスメートと(中央が鈴木さん)



男女共同参画推進担当理事  
短期大学部長

高瀬真理子教授

鈴木さんは、食物科学専攻で管理栄養士専攻ではありません。お父さまの「おいしい野菜」が原点にあり、「食えることが大好き」な学生生活を送りました。会社での輝かしい成果に安住せず、専門学校での資格取得と実務経験を経ての管理栄養士です。専門養成コース卒業であれば90%以上の合格率ですが、鈴木さんのようなケースでは19%程度。それでも実践的な「食」への探求を貫いているところに実践女子の魂が生きています。